



# Tanabe East Rotary Club in 2016-17

2016-17年度RI会長: ジョン F ジャーム  
 第2640地区ガバナー: 福井 隆一郎  
 田辺東ロータリークラブ  
 創立: 昭和49年5月15日

会長: 山本 亘  
 幹事: 谷本 司  
 会報: 岡本 博



例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
<http://tanabe-east-rc.com/>  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~  
 ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告 会長 山本 亘



■本日のプログラムは会員卓話として、会員増強委員会副委員長 野村憲司君と、新入会員卓話として山下勇三君です。後ほど、お話を宜しくお願い致します。

■8月27日(土) りんくう国際物流センターに於いて「青少年帰国報告会」が開催されました。2015-2016年度長期派遣留学生の倉山朗子さんと、2015-2016年度 青少年交換カウンセラーの武田静也君と青少年奉仕委員会副委員長 玉置和男君に出席していただきました。ご苦労様でした。

■9月2日(金) 19:00~ 紀南文化会館 小ホールに於いて、(公社)白浜・田辺青年会議所様 主催、中部大学教授の武田邦彦氏の講演会と、田辺市長 真砂充敏氏をお招きしてのトークセッション「地域の未来のために ~ 私たちにできることを今一度考えよう~」が開催されます。当クラブが協賛しております事業ですので、多数の会員様のご参加、宜しくお願い致します。

■9月4日(日) テクスピア大阪に於いて「クラブ青少年交換委員長会議」が開催されます。青少年奉仕委員会委員長 片井貢君に出席していただきます。ご苦労様ですが宜しくお願い致します。

■本日は奉仕食となっております。ご協力宜しくお願い致します。

## ○幹事報告 幹事 谷本 司



### ■例会日時変更

- ◎白浜RC 9月2日(金)→9月6日(火)19:00~  
場所: フィッシャーマンズ・ワーフ白浜
- ◎串本RC 9月13日(火)→9月16日(金)10:00~  
場所: 串本樫野崎トルコ軍艦遭難慰霊碑前  
<トルコ軍艦エルトゥール号遭難追悼式典行事参加>
- ◎那智勝浦RC 9月1日(木)→9月11日(日)  
場所: 和歌山県北山村 <家族親睦筏下り>
- ◎海南東RC 9月5日(月)→9月5日(月)19:00~  
場所: 海南商工会議所 4F
- ◎和歌山東南RC 9月28日(水)→9月28日(水)12:30~  
場所: ルミエール華月殿 7F

### ■メークアップ

- ◎8月25日(木) ワールド大阪ロータリーEクラブ  
那須壽子君

◎8月27日(土) 青少年帰国報告会  
武田静也君、玉置和男君

### ■回覧

- ◎週報「那智勝浦RC」
- ◎あるこう会「ひじうま報告176回」◎「シーカ136号」
- ◎やおき後援会より「やおき後援会への更新の御礼」
- ◎(財)米山梅吉記念館より「賛助会ご入会のお願い」「秋季例祭のご案内」「米山梅吉記念館 館報 28号」
- ◎福井ガバナー事務所より  
「貴クラブ所属会員お名前前の提出について(依頼)」

### ■連絡

- ◎9月のロータリーレートは 1ドル=102円です。
- ◎ロータリーの友9月号が届いています。各自のトレーに入れてあります。
- ◎RI 2640地区2016-2017年度 地区大会が10月23日(日) ホテル・アゴーラリージェンシー堺に於いて開催されます。一昨年度から全員登録制ではなく、参加登録制となっております。大会登録料は 1人: 8,000円 です。(クラブから支出いたします。) 当日参加される人数の登録の締切は9月21日(水)となっております。多数の会員さんのご参加宜しくお願い致します。



## ○本日の唱歌

「手のひらを太陽に」

唱歌委員 湯川和洋君  
作 詞 : やなせ たかし  
作 曲 : いずみ たく



## ○ゲスト・ビジター

田辺スズキ販売(株)

専務取締役 楠本 員久 (かずひさ) 様

田辺RC

きのくに信用金庫田辺支店 支店長 橋本 和也様

楠本員久様

橋本和也様



## ○出席報告

会員数 48名 義務免除 2名 本日の欠席者 9名  
本日出席率 80.43% 8月10日の修正出席率 91.11%

## ○にこにこ報告

(敬称略)

◇会員卓話、新入会員卓話頑張ってください。  
愛須勝章・後藤信博・橋本隆・本田耕二・木村壽一  
小山實・畔田実・前田吉彦・丸山博之・森本修至  
中川文恵・中島伸和・奥平朋久・坂本正人  
武田静也・竹村英一・谷本司・谷中順次郎  
上原俊宏・早稲田清司・山本亘・吉本正美

◇よろしくお願ひします。  
田辺RC 橋本和也様



◇卓話頑張ります。  
山下勇三



◇卓話頑張ります。  
田辺スズキ販売、楠本専務さんを  
2度目、お招きしました。  
野村憲司



◇先日、恒例のウォーキング中に、  
元『ロータリーメンバー』石材店の  
橋社長に偶然出会い、少し立ち  
話をしました。すると、橋社長も  
毎日ウォーキングされていること  
が判りました。私は毎日、1時間  
で6Kmを歩いています。橋社長は毎日、3時間だそう  
です。参りました。上には上がありますね。とても、  
お元気でした。 北村圭司



◇臍臓悪くしました。1日アルコ  
ール抜きました。片井さん何と  
か治りませんか。  
佐田一三



◇東北の水害を考えれば、暑い  
ことなど気になりません！  
吉田和枝



◇お花いただきます。  
渡口眞二



## ○委員会報告

社会奉仕委員会 吉本正美君

9月2日(金) 19:00~ 紀南文化  
会館 小ホールに於いて、(公社)  
白浜・田辺青年会議所様 主催、  
中部大学教授の武田邦彦氏の講  
演会と、田辺市長 真砂充敏氏をお招きしてのトーク  
セッション「地域の未来のために ~私たちにできる  
ことを今一度考えよう~」が開催されます。昨日の時  
点で350人ほどが申し込まれています。我、田辺東RC



が協賛しておりますので、ぜひ、ご参加ください。

ガバナー補佐 坂本正人君  
ただ今、ガバナー公式訪問は本日、  
堺大泉RCを訪問されております。  
30クラブ目となっています。  
まだあと、40クラブがあります。  
私は9月14日に新宮RC、15日には  
那智勝浦RCとガバナー公式訪問があり、一緒に訪問し  
てまいります。





## 会員卓話

会員増強委員会 副委員長 野村 憲司



7月24日、テクスピア大阪で開かれたクラブ会員増強・維持会議に出席しました。

出席者 増強委員長 武田静也、副委員長 野村憲司、ガバナー補佐 坂本正人

2640地区会員数の現況（5月末現在）ですが、総数1,941名（うち男性1,765名、女性176名）クラブ運営には20～30人の会員が必要といわれる中で、地区70クラブのうち45クラブが会員数30人未満という状況でした。

会議の中で会員増強・維持をテーマにグループセッションが行われました。

各グループの発表内容をいくつか紹介したいと思います。

- 1 「会員一人一人が一名増強すれば倍になる」をスローガンに取り組んでいる。
- 2 楽しい例会づくりをする。
  - ・毎回例会で握手をする（全員で1分間できるだけ多くの人と）
  - ・卓話の工夫 など
- 3 クラブで規約をつくり準会員制度を設ける。
  - ・例えば年会費24,000円でゴルフコンペや懇親の催し、食事会などに参加してもらう
- 4 ゴルフコンペや他のサークル活動に会員以外も誘う。
  - ・サークルを増やすなど活発化させる
- 5 女性会員を増やそう。
  - ・女性会員が増えれば結果、男性会員も増える
- 6 2世会員は入会金を無料にする。
- 7 3年、5年スパンで計画的に増強を考える。
- 8 普段から義理のある付き合いをする。
- 9 普段からバッチをつけることで話す機会が増える。
- 10 若手会員チームで増強活動を行い、ベテラン会員がこれをサポートする。

このほかにも他クラブではいろんな取り組みをされているようでした。今年度増強委員会においてもこれらを参考に取り組んでいきたいと考えていますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

会員増強概説と会員維持概説を週報に載せておきますのでお目通しください。

### <会員増強概説>

会員は多いほど、多様性のあるいろんな人と接することが出来、いろいろな考え方、異なる価値観を学べるし、あなたの知的好奇心を満足させてくれるものです。

「ロータリーは、親睦と奉仕と自己研鑽」であると思いますが、会員の多さと会員の多様性は、それぞれの力を強めてくれるものです。

また、「人は皆同じ」ではなく「人は皆違う」と考えてほしいと思っています。

昔ロータリーはヨーロッパ系アメリカ人のみでしたが、アフリカ系アメリカ人が入るようになり、更に男性社会でしたが女性も入るようになりました。

四つの言葉「みんなに公平か」の「みんな」の中には、アフリカ系アメリカ人も女性も入っていなかったのかも知れません。

日本では、昔、「人は皆同じ」の「人」には被差別部落の方々はいない場合入っていませんでした。「人は皆違う」という考え方の方が、差別の問題を考えると、多くの方に受け入れられる考え方になると思います。

また、「人は皆違う」という考え方から、異なる立場、考え方の違う方も尊重することが大切であるということが分かんと思います。

年齢差のある人、性の異なる人、人種の異なる人、何を話題にすれば良いかわからない人、ちょっと苦手な人、そして嫌いな人にも積極的に語りかけましょう。

更に、あなたには、会員増強をする「世話焼き」になってほしいのです。ロータリー好き、人好き、お世話好きです。

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの究極の目的は、「自己の人格を磨くこと」です。「世のため人のため」になるのであれば、「友愛の精神と寛容の精神(人を愛する力と受け入れる力)」で、会員増強や嫌いな人に話しかけることなど、面倒くさいことでもいとわないで行動することが、おそらくその人格磨きにつながると思います。

女性がおられないクラブ、いらしても男性よりはるかに少ないクラブが多いと思います。世の中は男性と女性が半々です。奉仕を受け入れたい方々も奉仕をしたい方々も男女半々です。

また、ロータリー活動を考えるとき、女性会員ならではの発想、その発想からくる奉仕活動があると思います。

女性は、困っている人の相談相手や社会的弱者に寄り添うことが得意です。親と一緒に過ごせない子供たちの居る児童養護施設に対する奉仕活動では、男性会員は父親の役ならば出来るわけですが、女性は母親役が出来ます。女性会員のいるクラブの方が奉仕活動の幅が広がるといえるのではないのでしょうか。

また、親睦という面ですが、女性会員がいると男性会員はクラブ内で女性と対等に話をする機会を持つことが出来ます。女性にとっても奉仕の精神に溢れた男性と話をするので、お互い人生勉強をすることができる機会を持てるわけです。

ただ、女性の専門職、会社の経営者はまだまだ少ないので、女性が半分というクラブは難しいかもしれませんが、女性は女性を会員増強して頂きやすいし、女性の会員を増やすことを考えてみましょう。

### <会員維持概説>

#### 退会理由

病気、死亡、転勤、引っ越し、経済的困難、時間的困難、人間関係の悪化・・・

#### 三年未満の退会者を減らそう

新入会員が相談しやすい制度や機関がありますか

新入会員と先輩会員とのマンツーマンの相談制度：ビッグブラザー制

#### 人間関係という退会理由

- ①嫌いな人ができた →(隣に座って語り掛ける、長所を探す)  
違いを認めつつ妥協しながら合意することが大切  
批判しないで認めることが大切  
無理に関心を持たないことが大切  
日常的挨拶程度は行うことが大切
- ②友達がない →例会出席、奉仕活動、懇談会などに誘う。勧誘力
- ③地区問題が不愉快 →もうほぼ終わった。これからは対話路線  
地区に無関心がいけない。関心を持ってみよう
- ④楽しくない →会長の協力  
例会のプログラムをもっと充実させよう  
新陸活動(飲食の機会など)をもっと充実させよう  
地域社会・青少年・国際奉仕活動をもっと充実させよう  
役割を与え、参加意識を持って頂こう  
なんでも話のできるクラブにしよう

例会時間帯や曜日の変更、年会費などの費用軽減を考えてみよう

クラブや地区の会計にも関心を持とう

メーキャップして、他を知ろう・・・いろいろな考え方、やり方があるよ

ロータリーは、コミュニケーション力を磨く場

ロータリーは、人間関係を円滑にすることを学ぶ場

ロータリーは、人間模様のひとつ

お山の大将、裸の王様もいる、自己中人、傲慢な人もいる、反面教師もいる、教師もいる、謙虚な人もいる、尊敬できる人もいる、どのような方も勉強になるロータリーは、人生道場である(米山海吉談)

でもロータリーを楽しもう！楽しみ方を見つけよう！楽しむ自分にチェンジ！



新入会員 卓話  
住友生命 山下 勇三



ご縁があり入会させていただきました。  
住友生命の山下勇三と申します。  
今回卓話ということでお話させていただきますが、いろいろ考えましたが2点程話させていただきます。1点目は生い立ちからいままでの経歴、2点目は東日本大震災の実体験から得た教訓です。お聞きぐるしい点もあると思いますがよろしくお願いします。

まずは生い立ちからお話させていただきます。  
私は昭和47年6月30日、愛媛県松山市にみかん農家の三男として生を受けました。道後温泉から山へ入った自然豊かな土地であり、幼少期は山や川でドロドロになりながら夕方遅くまで遊んだ記憶があります。中学、高校は町中の学校に進学したため、雨だろうが雪だろうが片道一時間の山道をひたすら自転車通っていました。今の子どものように親が送り迎えをするなど想像もしませんでした。このおかげで基礎体力がついたと思います。  
体力といえばスポーツですが、小学校3年生から大学卒業までの14年間ソフトボールを続けておりました。男子でソフトボールというとなじみがないと思いますが、中学・高校に野球部がなかったため、自然と続けることになりました。ポジションは今の体型からは想像できないと思いますがピッチャーをしておりました。  
また、農家に生まれましたので、幼少期から高校卒業するまでは、学校が休みで部活のない日は当たり前のように家の手伝いをしておりましたというか、させられておりました。友達が遊んでいるそばを軽トラの荷台に乗って山に行くときは本当に農家で生まれてきたことを恨んだものです。今になれば、①親の偉大さ、②努力することの大切さ、③我慢することの必要性、を学べたと思います。  
高校卒業後、東京の大学に進学・卒業し22歳のときに縁あって住友生命に入社しました。  
転勤族の宿命ではありますが、入社以来、東京ー横浜ー高知ー東京ー宮城ー福岡ー和歌山と転勤してきましたが、それぞれの土地で様々な方と出会い、様々な経験をさせていただきました。  
その中でも私の人生感を一変させる出来事が東日本大震災でした。

次はこの東日本大震災の実体験についてお話させていただきます。  
震災が発生した2011年3月11日は私の住んでいた石巻市は、空はどんより曇っており晩冬のまだ肌寒い日でした。当日の午前中に仕事の関係で石巻から20キロ程はなれた女川というところにおりました。少し話しが外れますが、この女川には原発があり震災発生後「死の雨が降る」というデマが流れたりもしました。大きな混乱にはなりませんでした。情報が遮断された際の怖さを感じた事項でした。なお、この女川には20mを超える津波が襲来し、もしそのまま震災発生時に留まっていたら、私も命があったかはわかりません。

話は戻りますが、女川から午後2時半ごろに戻り遅い昼食を取るためにラーメン店に入り、食事後駐車場の車に乗り込んだのが3時10分過ぎだと思います。すると、けたたましい音の緊急地震速報の音が携帯からしたと思った瞬間に今までに経験したことのない揺れを感じました（どちらが先だったかも正確には覚えておりません）。広い駐車場のアスファルトが波打ち、電柱が今にも折れそうなまで揺れ、電線が火花を散らして切れていく様子を目の当たりにし、少なくとも揺れが続いている数分間は何が起こっているか理解できませんでした。揺れが収まってからもしばらくは放心状態ですぐに動けず、時間にして1分程度経過したのちに我に返り、当時の事務所に急ぎ戻りました。事務所は当時築40年を経過していましたが、震源が遠く横揺れ中心であったため倒壊は免れていました。ただし、すさまじい揺れのため、増築部分に10cm程の空間ができ、室内はありとあらゆる物が散乱し原型を留めていませんでした。室内には10名程度の職員が残っていたためすぐに避難するよう指示し、倒壊の恐れがあり他の職員が入ることのないよう建物を封鎖しました。

その後建物にいた職員に避難を指示したのですが、その際に非常に悩ましい判断を迫られました。当時車のワンセグで大津波警報を聞いており、あの揺れを体感したことからとんでもない津波がくると確信していましたが、多くの職員は家族の下へ行く（特に小さい子供がいる人）と言って聞かない者が多く、とても指示に従う状況ではありませんでした。結果私がした判断は「強制的に避難させ、家族の方に万一なことがあった場合は一生後悔させることになる」ため、本人の意思に任せることとしました。但し、約束事として「海沿いは通らない、津波を感じたら即内陸方面に逃げる」ことだけ指示し、皆を送り出しました。結果的にそのとき事務所にいた職員は、津波に追われて逃げたものはいたものの、家族を含めて皆無事でした。

私は当時81歳の最高齢職員を連れ、町の真ん中にある日和山という丘に避難し、一晩過ごし、津波が引いたあとに発生した大規模な火事の明かりを眺めながら一晩車の中で過ごしました。たまたま車のガソリンが満タンであったため、暖房をつけて過ごせたことは不幸中の幸いでした。現実をまだ理解できず「家に帰りたい」という部下をたしなめながら真っ赤な空を眺めながら過ごした夜は今でも忘れられません。

翌日、日が昇り始めたころ、街中に下りてみると、目の前に広がった光景に愕然としました。一面に広がる瓦礫の山、海水、積み重なった車……。この世のものとは思えない光景を目の当たりにし、改めて自然の猛威、人間の無力さを実感しました。

その後は一步一步復興への道のりを歩むわけですが、時間の関係上、本日はここまでとします。

自然災害は起こらないにこしたことはありませんが、いつかは必ずきます。我々ができることは「いざという時にどうするか決めておくこと（特に家族）」と「保険をかけておくこと」です。  
損害保険も取り扱っておりますので、ご検討の際にはよろしくお願いします。